

院にゃあねっと

平成19年
4月20日発行
通算70号

特集

「久美浜病院が目指す医療」

赤木重典

探訪「久美浜・病院」

通所リハビリテーション

外来医師担当表

第三回院内学会

「地域包括医療の更なる
向上を目指して」

- 笑顔と心のこもった良心的な医療
- 地域に密着した温もりのある確かな医療
- 保健・医療・福祉を一体化した包括医療

久美浜病院が目指す医療

京丹後市立久美浜病院副院長 赤木 重典

久美浜病院は、規模が小さく設備もマンパワーも整っていないことから、地域のみなさんが『安心』を実感できる医療体制づくりに取り組んできました。

昭和62年「丹後広域消防組合」の発足に際して、わずか5人の常勤医師でしたが「お互いが助けあって救急患者を全例受けよう」と結束し、実践しました。これがきっかけとなって

「24時間・365日」すべての診察依頼に応える、病院としての「当たり前の姿勢」が職員全体に浸透していったことを思い出します。

今日までの歩みは、多くのことに気づき、さまざまな対応を求められ、試行錯誤を繰り返しながら大きな収穫を得ることができた期間でもありました。

この地域の住民のみなさんにとって、京阪神の病院まで出かけて治療を受けるには地理的、経済的な面などで大きな負担が

かかります。そこで、何年間かに1度くらいしか経験しない希な症例であっても、当院の設備で対応が可能な場合には「患者さんが



動くより医者が動いた方がずっと親切」と考え、全国のスペシャリストに応援を求めました。その結果、特殊な技術を備えた多くのスペシャリストが全国から駆けつけてくれるようになりました。遠くは岩手県から3度も足を運んでくれた外科医もいます。神戸の放射線科医には、昨年だけでも5症例に対して日本のトップレベルの技術を当院で提供してもらいました。同様の『連携』は他の診療科でも構築されていて、特殊な専門分野において、数多くの

- 笑顔と心のこもった良心的な医療
- 地域に密着した温もりのある確かな医療
- 保健・医療・福祉を一体化した包括医療

スペシャリストが久美浜病院の常勤医師13人、歯科医師5人の日常診療をサポートしてくれています。

院内においても、職種間での相互理解が少しずつ深まり、いくつもの活動が多職種の『協働』で具体化されています。栄養状態に注目してスタートしたNST（栄養サポートチーム）活動は、褥瘡（^{じょくそう}床ずれ）対策チームと力をあわせて院内での褥瘡（^{じょくそう}）発生をほとんどゼロに導きました。また、「食べられる」ことのすばらしさを再認識させ「摂食嚥下・^{えんげ}口腔ケア」の活動に弾みをつけました。この活動は、徐々に地域への広がりを見せ、隣接する特別養護老人ホーム「久美浜苑」では、献身的な入苑者のかたとの関わりで、久美浜病院への入院患者数を激減させています。

個々の職域を「点」とすれば、それがつながって「線」となり、今、さらに発展して『面』になろうとしています。

このような取り組みに共感する医師が、少しずつですが全国から集まってきています。昨年4月には公立豊岡病院に11年間在籍

し、福井県立病院に転勤していた歯科口腔外科の堀医師が、加えて今年1月には大阪市立大学出身で聖隷浜松病院でがんばっていた内科の三木医師が「地域に密着した医療」（地域包括医療）をさらに充実させるため「一緒にがんばろう」と飛び込んでくれました。

私たちは、この流れを大切に育みたいと思います。久美浜病院と地域、さらには全国の志を同じくする医師たちとの『連携』を今以上に緊密にし、地域のさまざまな資源との『協働』をさらに進め、地域全体を『面』として支えられる環境を整えることによって、住民のみなさんが



『安心』して住み続けることができる『地域づくり』を目指しています。

- 笑顔と心のこもった良心的な医療
- 地域に密着した温もりのある確かな医療
- 保健・医療・福祉を一体化した包括医療

語る「くみはま・びょういん」

赴任当時の

くみはま・びょういんの印象

三木内科医師 以前久美浜病院眼科におられた渡辺先生が前院に就職され、話しているうちに久美浜病院のことをいろいろ聞きました。今年の1月赴任でしたので、寒かったです。



毎日忙しいですが、非常にやりがいがあります。各科の垣根が低い(ない)ので働きます。

浦野泌尿器科医師 やっと私の力を発揮できる場所に巡りあえたと思いました。医者になってから久美浜に来るまでの私は、くだらないしがらみの中で行われる医療に失望していましたし、精神的にも追いつめられていたと思います。この地に来て、「医者になって、みんなに親切にしてあげたい」と思っていた小学生の私の感覚を取り戻しました。

岩見小児科医師 医師も看護師も熱心に働いてるので感心しました。なんせ、前の病院では、働くことをいやがる人(特に医者で)が多かったので、嬉しかったです。



患者さんは、どこもあまりかわりません。ただ都市部に比べ、兄弟が多いと感じましたね。都市部では一人っ子かせいぜい二人でしたから。宮津の出身なんで丹後弁には違和感はありませんが、語尾の～のイントネーションが違うなと感じました。

堀齒科口腔外科医師 但馬に長年勤務していたので、環境の戸惑いなどはありませんでした。病院の印象としては、非常に患者さんに



やさしい病院と感じました。しかし、他病院に比べるとひとつひとつの診療報酬に対する職員の認識が低いことがあります。小さいことの積み重ねが数字になり、赤字解消につながります。久美浜病院は医師をはじめひとつひとつのことを改善していけば必ず赤字が解消できると思います。

例えば、個室料の安さ、診断料の安さ、検査の少なさ、材料の無駄遣いなど・・・

瀬尾内科医師 丹後弁は当初、戸惑うこともありました。「たばこする」=休憩する、「こぼる」=がまんする、「すね」=ひざ、「あだける」=ころぶ、などなど。「ふいふい」は奥の深い表現で例えようもなくカルテにも「ふいふい感」と記載しています。



そして現在

岩見 勤続10年です。4月で11年目に入りました。老化でエネルギーが減った。人間が丸くなった。「ま、良いか」が多くなった。子どもが大きくなった。外来患者さんを診察する速度が遅くなった。字も汚いまま。知識もかわらん。



子どもが最も大切な存在で、重症の子どもに対しては、全身全霊を傾けられそうだから(それだけではないが)小児科医になった。しかし最近、子どもの大切さより、子どもを思う親の愛情が最も素晴らしいものと思えるようになりました。

瀬尾 平成6年から久美浜病院一筋ですので、12年になります。この12年間で私も病院も地域も大きく変わっていったように思います。丹後弁にもすっかり馴染んで、最近では患者さん

- 笑顔と心のこもった良心的な医療
- 地域に密着した温もりのある確かな医療
- 保健・医療・福祉を一体化した包括医療

に丹後弁を交えて説明している自分に気づきます。



私自身では久美浜で家族ができたことでしょうか。家があつて家族があることの豊かさは何ものにも代え難いものがあります。両親や支えてくれる人達、家族を取り巻く環境、社会の大切さが身にしみて感じるようになりました。病院は其中で地域の人達に安心を与えていくとても大切なものなのだと日々再認識しています。医療内容も大病院に負けないようにとみんなで努力し徐々に充実してきたように思います。予約診療も開始しました。療養病棟ができ、訪問診療、訪問看護などの在宅診療が展開され、地域に根ざした魅力ある病院となってきたように思います。

堀 勤務1年ですが、もう何年も久美浜病院に



いるようなデカイ態度ですみません。赴任当初に比べて口腔外科の患者さんが外来・入院とも非常に増え、みなさんに歯科との違いを少しは認識していただけたのかと思います。

浦野 平成12年7月に赴任しましたので、今年の7月で7年になります。変わったことは『いいちこ』以外の酒をほとんど飲まなくなったことと、子どもの数が増えたのと大きくなったのとで家が狭くなったことくらいでしょうか。



今後の展望としては

瀬尾 医療費削減、医療制度の改革、新臨床研修制度、市町村合併などに伴って社会とともに変貌してきた側面もあるように思います。こんな不安でとりわけ地域に厳しい時代だからこそ、



- 笑顔と心のこもった良心的な医療
- 地域に密着した温もりのある確かな医療
- 保健・医療・福祉を一体化した包括医療

常に安心を提供できる揺るぎない病院が地域に必要なのだと思います。都会の大病院にない久美浜病院だからこそできる医療があると思います。都会にいるより久美浜にいるほうが安心できる医療を受けられる、そんな時代がくるような気がしています。



堀 公的には京都北部の口腔外科疾患の拠点病院にしたい。私的にはゆっくり小説を書きたい。

三木 まずはいろいろなことを勉強すること。そして新しいものも取り入れながら、都市部と格差のない医療をすること。診療体制を今のまま変えて欲しくないです。そして、休日には子どもと遊びたいです。



浦野 多くのスタッフが「患者さんのための医療をしよう」と考え行動している。

最後に座右の銘があれば

岩見

『人間万事塞翁が馬』『克己』

瀬尾

『鬼手仏心』

(患者さんに侵襲的な医療を施さなければならぬとき、いつも思ってます)
『苦しいときこそ、もっと走れ』

浦野

『謙虚』

堀

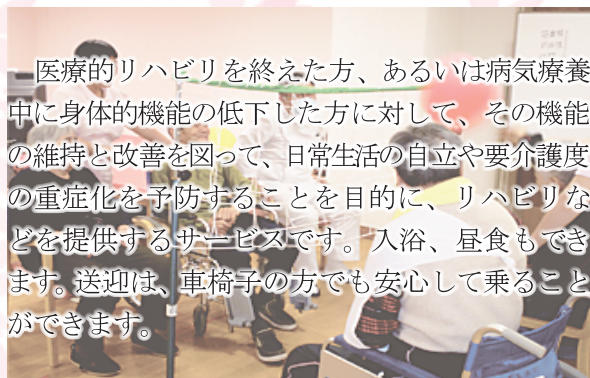
『忍耐と努力』

三木

「座右の銘と言えるようなものは今のところありません」

通所リハビリテーションって何？

通り違ってどんな所？



医療的リハビリを終えた方、あるいは病後療養中に身体的機能の低下した方に対して、その機能の維持と改善を図って、日常生活の自立や要介護度の重症化を予防することを目的に、リハビリなどを提供するサービスです。入浴、昼食もできます。送迎は、車椅子の方でも安心して乗ることができます。

デイサービスとの違いは？



デイサービスよりも人員基準として医師、理学療法士（PT）、または作業療法士（OT）もしくは言語

療法士（ST）の配置が必要になります。またリハビリに必要な面積および器具が入っていて、より専門性の高いサービスを個々に応じて受けられることです。

どうしたらサービスが受けられるの？

まず、**要介護認定**を受けているか・・・が**カギ**です。

★ 認定を受けている場合

1. ケアマネジャーに相談する。
2. ケアマネジャーを通じて申し込みをする。
3. 曜日を決定し、来所予定を立てる。
4. 家庭訪問に伺います。

●身体状況の調査（通所リハのPTまたはOTと、看護師、ケアマネジャーとで伺い、どのような身体状況か調査し、利用目的をはっきりする）

●家屋調査（トイレや風呂等の状況を見る）

5通所リハビリテーションとの契約→利用開始。



★ 認定を受けていない場合、まず介護認定の手続きをする。

1. 介護認定の申し込み（まず市民局地域福祉課、在宅介護支援センター等に申請していただきます。）
2. 認定調査を受ける。
3. 要介護との認定を受けると、ケアマネジャーを決めてもらいます。（認定の結果、「要介護1」以上の方はご利用可能です）要支援の方はご利用できません。

通所リハでは一人浴槽の材質にヒバを使用して



います。扉を開けると木の香りがして、肩までつかるとほっとします。アロマセラピーの効果です。利用者の方からもご好評を戴いております。



利用者のかたの声

「木のお風呂が気持ちいい」

「リハビリの先生が親切で優しい」

最後に一言

通所リハビリテーションに来ていただくことで、より在宅生活にうるおいを増し来所を楽しみにしていただけるような事業所を目標に、職員一同、今後も努力していきます。

どうぞ、宜しくお願いいたします。



- 笑顔と心のこもった良心的な医療
- 地域に密着した温もりのある確かな医療
- 保健・医療・福祉を一体化した包括医療

京丹後市立久美浜病院 外来医師担当表

(平成19年4月1日～)

診察科		曜 日	月	火	水	木	金
内科 1 診	午 前		山 本 康	奥 田 聖 介	山 本 康	奥 田 聖 介	瀬 尾 泰 正
	午 後		山本(予約診)		山本(予約診)	奥田(予約診)	瀬尾(予約診)
内科 2 診	午 前		田 儀 英 昭	瀬 尾 泰 正	三 木 良 浩	田 儀 英 昭	三 木 良 浩
	午 後		田儀(予約診)	瀬尾(予約診)	三木(予約診)	田儀(予約診)	三木(予約診)
外 科	午 前		八 幡 武 司	赤 木 重 典	吉 山 敦 赤木(予約診)	赤 木 重 典	八 幡 武 司
	午 後				たこ・うおめ・いほ 外 来 (第 2・第 4) 赤 木 重 典		
整形外科	午 前		平 島 淑 子	平 島 淑 子	平 島 淑 子	府立医大医師	休診(第1・3・5) 平島(第2・4)
	午 後		平島(予約診)	平島(予約診)	手術		
小 児 科	午 前		岩 見 均	岩見(予約診) 慢性疾患専門外来	岩 見 均		岩 見 均
	午 後		担当小児科医	森 田 高 史	担当小児科医	森 田 高 史	担当小児科医
眼 科	午 前		南丹病院医師	済生会中津病院 医 師			府立医大医師
泌 尿 器 科	午 前		浦 野 俊 一		浦 野 俊 一	浦 野 俊 一	浦 野 俊 一
歯 科	午 前		真 下 肇 井上 景(第2・4)	真 下 肇 井上 景	真 下 肇 井上 景	真 下 肇 井上 景	真 下 肇 井上 景
	午 後 (予約診)		真 下 肇 井上 景(第2・4)	真 下 肇 井上 景	真 下 肇 井上 景	真 下 肇 井上 景	真 下 肇 井上 景
歯科口腔外科	午 前		堀信介(第1・3・5) 名 越 充	堀信介(第2・4) 名 越 充	堀 信 介 名 越 充	堀 信 介 名 越 充	堀 信 介 名 越 充
	午 後 (予約診)		堀信介(第1・3・5) 名 越 充	堀信介(第2・4) 名 越 充	堀 信 介 名 越 充	手術	手術
皮 膚 科	午 後						府立医大医師 (診療開始 13:00)
耳鼻咽喉科	午 後		府立医大医師 (診療開始 13:30)			府立医大医師 (診療開始 13:30)	
佐濃診療所	午 後		奥 田		奥 田 (毎月第4水曜日は 休診となり、翌日の 木曜日に山本医師の 診察となります。)		

【 受付時間 】

- 午前診察受付時間 午前7時30分～午前11時
- 午後診察受付時間 正午～午後2時
- 歯科・歯科口腔外科初診受付時間 午前7時30分～午前11時

【 小児科電話受付時間 】(TEL 0772-82-8200)

- 午前診察受付時間 午前9時～午前11時
- 午後診察受付時間 午後1時～午後2時 (火・木曜日のみ)

- ★ 外科の火曜日の受付は午前10時までとなります。
- ★ 整形外科の水曜日の受付は午前10時までとなります。
- ★ 小児科の火曜日の午前診は予約診となっており、医師の指示のある方が対象です。

【京丹後市立久美浜病院 TEL 0772-82-1500 (代)】

○笑顔と心のこもった良心的な医療
○地域に密着した温もりのある確かな医療
○保健・医療・福祉を一体化した包括医療

第三回院内学会「地域包括医療の更なる向上を目指して」



平成19年1月20日、京丹後市久美浜市民局二階会議場で開催され、有意義な発表と議論がなされました。以下は主な内容です。

口演1 真下 歯科医師

医療事故予防対策の現状と課題
人は間違える生き物。それを隠さず明らかにし、改善する仕組み。

口演2 二病棟

「シーツのずれに対する検討」
快適な入院生活のための創意・工夫。

口演3 歯科部門



NST（注1）の取り組みについて

口からものを食べる行為を引き出すことで、QOL（注2）が改善し、ひいては、医療費の削減につながる。当院では歯科部門が主体となってNSTを行っています。

口演4 外来部門

小児科外来における服薬指導

薬嫌いの子ども達にいかにして薬を飲んでもらうか、小児科にとっては非常に重要な研究。

口演5 一病棟

服薬管理能力別指導方法の検討

服薬能力を評価する指標の導入と実践についての研究

口演6 田儀 医師

久美浜病院内科の特色

へき地の小規模病院ながらも、胸の張れる医療を行っている自負とその根拠。今後の過疎地域の医療の問題点を、多面的に分析。

口演7 八幡 医師

多発肝転移に対する肝動注療法後に原発巣を切除し得た進行直腸癌の一例

へき地に位置する当院での最先端医療の実践例。

口演8 薬剤部門

抗MRSA（注3）抗生物質の適正使用へのとりくみ

副作用を減らし効果的な治療のための最適な投与量や投与間隔の決定方法の構築。

口演9 歯科口腔外科

本年度強化・充実された

歯科口腔外科の業績報告

昨年度より、北近畿一番とでも言えるほどに強化充実された歯科口腔外科部門の診療内容。



熱心に聴講され、また討論に参加された石河良一郎、井谷実夫、岡田修、奥野重治、大下倉禎介、谷口正博、田茂井誠司郎、野村重嘉、平林智江美、松本信之、森口亨、行待実（アイウエオ順、敬称略）の市会議員の方々には深謝いたします。

注1 NST：栄養サポートチーム。医師、歯科医師、薬剤師、看護師、栄養士、歯科衛生士などがチームを組み、患者さんに最もふさわしい方法で栄養状態を良好に保つことを目的として活動しています。

注2 QOL：生活の質。この場合、いつまでも口からおいしく食べていただくことです。

注3 MRSA：メチシリン耐性黄色ブドウ球菌。抗生物質「メチシリン」に対する薬剤耐性を獲得した黄色ブドウ球菌という意味。実際には、多くの抗生物質に耐性を示す多剤耐性菌。



選択肢は正しく選択するものでもあり、新しく創るものでもあると信じています。待合室に市民画廊がある病院から市民の皆様へお届けする情報を託す8頁の広報『院にゃあねっと』です。

原稿依頼の際は宜しくお願いします。（N）

○笑顔と心のこもった良心的な医療

○地域に密着した温もりのある確かな医療

○保健・医療・福祉を一体化した包括医療